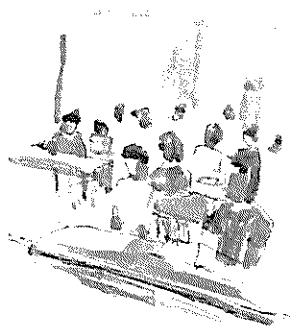
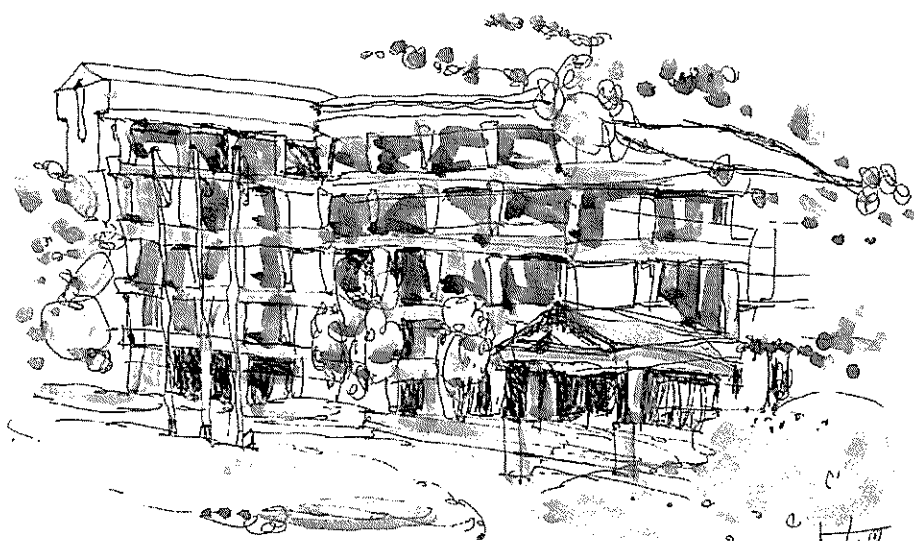


ここから 始まる 学びの輪

— 学習・体験・交流の広場 —



平成19年度 要覧

福岡県立社会教育総合センター



目 次

平成19年度事業 02

1. 事業

平成18年度実績 05

1. 事業
2. 施設の利用状況
3. 学習相談状況
4. 家庭教育相談「親・おや電話」

施 設 概 要 12

1. 建築概要
2. 施設設備
3. 福岡県視聴覚ライブラリー
4. 利用案内
5. 使用料一覧

組 織 ・ 機 構 18

職員数・職員一覧 19

沿 革 20

施 設 配 置 図 22

県立社会教育総合センターは、昭和59年に少年自然の家との複合施設として設置され、今年で23年目を迎えます。県民の生涯学習を支援する社会教育施設として①県民の学習活動支援、②子どもの育成支援、③社会教育関係者等の養成支援に取り組んでいます。

平成19年度は、教育基本法の改正をふまえて、新たに4本の主催事業を実施する等「現代的課題」に対応できるセンターをめざします。

平成19年度 事業

事業

① 県民の学習活動支援

	事業名	ねらい・内容	対象	期間
学習情報提供・学習相談	「ふくおか生涯学習ネットワーク」の運用（ホームページ）	生涯学習・社会教育に関する様々な情報の収集・提供、当センター及び県内関係施設の紹介	県民、県、市町村、各団体、各施設等	通 年
	図書資料の収集・整備・提供	生涯学習・社会教育に関する図書資料の収集、整備、提供を行う	県民、行政関係者等	通 年
	視聴覚教材の収集・貸出	生涯学習・社会教育・学校教育に関する教材の収集と貸出を行う（送料 往復無料）	県民、学校、施設等	通 年
	学習相談の実施	学習相談体制を整備し、学習機会や講師情報・事例など様々な学習相談に応じる	県民、行政関係者等	通 年
調査研究	社会教育基礎データ調査研究	関係事業データの収集・整備、生涯学習・社会教育・家庭教育に関する調査・データの収集・提供等を行う	県、市町村、各団体	通 年
成人等の学習・交流・ボランティア等支援	ヤングボランティア養成講座	学習支援ボランティアとして、主催事業等で活動できる資質と能力を習得する (1回目) 理論、演習、実践 (2回目) 実践発表、情報交換	高校・大学、専門学校の生徒、学生等	6月16日(土) 1月20日(日)
	宿泊体験活動事前講座	宿泊利用予定の学校等を対象に、当施設の特徴や効果的な活動を事前学習する	利用予定の学校団体等	8月3日(金) 2月1日(金)
	センターゆずまつり 共催:青少年野外教育財団	冬至の時期に合わせ、様々な体験活動プログラムを提供する	利用予定の学校団体等	12月15日(土)
	施設ボランティア交流事業	県立社会教育施設間の交流を通して、施設ボランティア活動の充実を図る	篠栗町内を中心とした地域住民	2月16日(土) ～17日(日)
	生涯学習応援隊	研修会や事業企画等の支援に職員を派遣する	市町村、各団体等	通 年
	センター学習ボランティア 「若杉の会」の支援	「若杉の会」の活動を支援することにより、会員の研鑽と会の充実を図る	若杉の会会員	通 年

② 子どもの育成支援

	事業名	ねらい・内容	対象	期間
子どもの体験活動支援	「ワクドキ」シリーズ第1弾 「ワクドキ 夏祭り」 共催:青少年野外教育財団	地域行事(夏祭り)に参加し、1泊2日の異年齢集団による生活体験活動の機会を提供する	小学生のみ	7月7日(土) ～8日(日)
	「ワクドキ」シリーズ第2弾 「ワクドキ おやし塾」 ～おやじが遊べば子どもは変わる～(新規)	家庭における父親の子育て参画を推進するため、父子での自然体験活動の機会を提供する	小学生の父子	7月28日(土) ～29日(日) 11月17日(土) ～18日(日)
	「ワクドキ」シリーズ第3弾 「ワクドキ体験カーニバル」 共催:青少年野外教育財団	子どもたちに施設を開放して、様々な体験活動やものづくりの機会を提供する	篠栗町内を中心とした親子等	11月11日(日)
	「和き合い愛塾」inささぐり	障がいのある子どもたちに自然体験、宿泊体験などの体験活動の機会を提供する	障がいのある児童生徒と家族	8月18日(土) ～19日(日) 10月13日(土) ～14日(日) 12月8日(土)

	事業名	ねらい・内容	対象	期間
家庭教育支援	子育てネットワークinふくおか	研修、学習、交流を通して子育てグループ活動の充実を図るとともに、子どもに体験活動を提供する	子育てグループ等	10月27日(土)～28日(日)
	家庭教育相談電話「親・おや電話」	保護者を対象に家庭教育全般の相談に応じる	保護者等	通年
	「ふくおか子育てパーク」の運用(ホームページ)	パソコンや携帯電話を活用した子育てに関する情報の収集、提供、相談に応じる	県民、市町村、各団体等	通年

③ 社会教育関係者等の養成支援

	事業名	ねらい・内容	対象	期間
行政職員等研修	社会教育専門セミナー(新規)	中央の講師等を迎え、これからの生涯学習・社会教育の施策等について研究協議を行う 講師 ①山本恒夫 八洲学園大学 教授、筑波大学 名誉教授 ②土江博昭 島根県雲南市教育委員会 教育長 ③岡本薫 政策研究大学院大学 教授 ④柵富雄 富山インターネット市民塾推進協議会 事務局長 ⑤佐藤友美子 サントリー株式会社 次世代研究所 部長 ⑥今野雅裕 政策研究大学院大学 副学長	県市町村社会教育行政職員等	① 5月11日(金) ② 8月3日(金) ③ 8月24日(金) ④ 10月5日(金) ⑤ 10月19日(金) ⑥ 2月15日(金)
	社会教育基本研修	生涯学習・社会教育の推進に必要な基礎的・基本的な知識等について学習する	社会教育行政新任職員	5月23日(水)～24日(木) 7月20日(金)
	市町村社会教育委員新任者研修 共催:県社会教育委員連絡協議会	社会教育委員の役割や社会教育の課題等について学習する	市町村新任社会教育委員等	7月3日(火)
技能・技法研修	野外活動Howto講座	指導者が野外の様々な場面に役立つ技能や技法を習得する	行政、学校、団体民間等指導者	5月26日(土) 9月29日(土)
	16mm映写機操作技術講習 共催:県視聴覚教育協会	16mm映写機操作技術を習得する	市町村、学校、施設等職員	8月7日(火) 11月6日(火)
	カウンセリング講座	多様化する援助ニーズに対応するためのカウンセリング技法を高める	相談業務に従事する人	10月1日(月) 10月15日(月) 10月29日(月) 11月5日(月) 11月19日(月) 12月3日(月)
課題別研修	社会教育行政相談(新規)	市町村等が抱える課題に対し、大学教授とセンタースタッフにより、その解決をめざす(九州共立大学 古市勝也教授指導)	市町村職員等	6月14日(木) 7月12日(木) 8月9日(木) 10月11日(木)
	家庭教育支援者セミナー	家庭教育支援者としての資質の向上とネットワークを図る	家庭教育アドバイザー、行政職員等	6月19日(火) 7月17日(火) 8月28日(火) 9月9日(日) 2月25日(月)

	事業名	ねらい・内容	対象	期間
課題別研修	NPO等連携・協働推進セミナー 共催:県NPO・ボランティアセンター	NPO等の活力を活かした生涯学習の振興を図るための連携、協働について考える	行政職員、各団体リーダー等	8月4日(土)
	社会教育的手法を活かす学校運営セミナー(新規) (財)青少年野外教育財団との連携	社会教育行政経験をもつ教職員等が一堂に会し、社会教育の手法を活かす学校教育の在り方を研究協議する	社会教育主事等、学校関係職員等	8月10日(金)
	男女共同参画セミナー 共催:県男女共同参画センター	男女共同参画社会の実現のために必要な知識や政策について学ぶ	行政職員、団体等	9月22日(土)
	高齢者社会参加促進セミナー	高齢者の社会参加活動及び地域活動拠点のあり方等について研究協議する	実行委員会、行政職員等	2月21日(木)
交流研修	第26回中国・四国・九州地区生涯学習実践研究交流会	生涯学習・社会教育関係者等の実践事例研究会を開催し、相互の研鑽と交流を図る	生涯学習、社会教育関係者等	5月19日(土)～20日(日)
	県社会教育研究大会 共催:県社会教育委員連絡協議会	県内の社会教育委員、社会教育関係者等が一堂に会し社会教育の在り方や社会教育委員の役割等について研究協議する	社会教育委員、教育委員、社会教育・学校教育関係職員、関係団体の会員等	9月14日(金)
	公民館実践交流会 共催:福岡県公民館連合会	公民館の関係者が一堂に会し、日頃の実践の発表・交流を通じて、生涯学習社会における公民館活動の在り方を考える	公民館関係者(公民館、自治館、公民館運営審議会等委員)、社会教育行政職員等	2月6日(水)

＜当センターにおいて県生涯学習課等他団体が主催もしくは共催する社会教育関係事業等＞

事業名	ねらい・内容	期間
地域活動指導員研修会	地域活動指導員の役割について理解を深めるとともに、子どもの生きる力を育むための様々な体験活動の企画・立案力及び指導力等の向上を図る	5月24日(木)
ふくおか高齢者はつらつ活動拠点事業コーディネーター研修	本事業のコーディネーター等を対象に、高齢者の自主的な学習や社会参加活動を促進するために必要な知識・技能の習得を図る	9月11日(火)
県特別支援学校父母教師会連合会指導者研修	県立特別支援学校のPTA指導者を対象に、組織の在り方や運営の方法など、当面する諸問題についての研修を行い、幹部としての資質の向上を図る	11月27日(火)
県PTA連合会幹部研修会	小・中PTAの幹部役員等を対象に、PTA活動の在り方や指導者としての役割について学習を深めるとともに、心豊かな子どもを育てる家庭教育の充実を図る方策について研修する	9月9日(日)
第39回九州青年祭	九州各県の若者が集まり、相互の友情と連携を深める。また、特色ある地域づくりを体験し、九州を担う若者として、地域社会で何ができるかを考えるきっかけとする。	9月22日(土)～24日(月)



18年度実績 ～こんなことをしました～

1 事業

① 県民の学習活動支援

	事業名	対象	期間	参加者数等
学習情報提供・学習相談	「ふくおか生涯学習ネットワーク」の運用	県民一般、国、県、市町村、各団体、各施設	通年	アクセス数 551,400件(7月～)
	図書資料の収集・整備・提供	県民、行政関係者、社会教育関係者等	通年	
	視聴覚教材の収集・貸出	県、市町村、学校、施設、団体等関係者	通年	
	学習相談員の配置及び相談活動	県民、行政関係者、社会教育関係者等	通年	
調査研究	社会教育基礎データ調査研究	国、県、市町村、各団体、各施設	通年	
	学社連携・融合に関する実証的研究事業	宇美町立桜原小学校	10月16日(月) ～10月20日(金) (5日間)	
成人等の学習・交流ボランティア等支援	ヤングサポーター養成講座	県内中高大50名	7月16日(日) 10月8日(日)	27名 40名
	ボランティア活性化促進事業	県立社会教育施設ボランティア	1月20日(土) 1月21日(日)	34名 34名
	センター学習ボランティア「若杉の会」の支援活動	若杉の会員等	通年	
	生涯学習応援隊	市町村、生涯学習関係団体	通年	
	ゆず湯の会	篠栗町内を中心とした地域住民	12月16日(土)	540名
	第49回福岡県青年大会	県内に居住している青年及び青年を中心に活動している団体	9月17日(日)	154名

② 子どもの育成支援

	事業名	対象	期間	参加者数等
子どもの体験活動支援	「和き合い愛塾」inささぐり	障害のある児童生徒とその家族・支援ボランティア	8月19日(土)～20日(日) 10月14日(土)～15日(日)	98名 56名
	ワクワク・ドキドキ・ウィークエンド	小学1～6年生等・支援ボランティア	7月8日(土)～9日(日) 12月2日(土)～3日(日)	106名 117名
	子どもの体験活動カーニバル	篠栗町内を中心とした地域住民(親子等)及び県内の体験活動支援者	11月12日(日)	500名
	ささぐり若杉カップ	県内中学生女子 県内小学生男女	バレーボール 1月6日(土)～7日(日) バスケットボール 2月3日(土)～4日(日)	350名 560名
家庭教育支援	家庭教育相談電話「親・おや電話」	幼児期から少年期までの親(保護者)等	月～土曜日 9:00～21:00 (21:00～9:00は留守番とファクシミリで対応) ※第2月曜日・祝日・国民の休日・年末年始は除く	相談件数 1,233件

	事業名	対象	期間	参加者数等
家庭教育支援	子育てネットワークinふくおか	子育てグループ、サークル、子育て支援関係者、行政関係者及び子育てに関心のある方	10月28日(土) 10月29日(日)	460名 大人290名 小人170名
	「ふくおか子育てパーク」の運用	県民一般、国、県、市町村、各団体	通年	アクセス数 650,600件

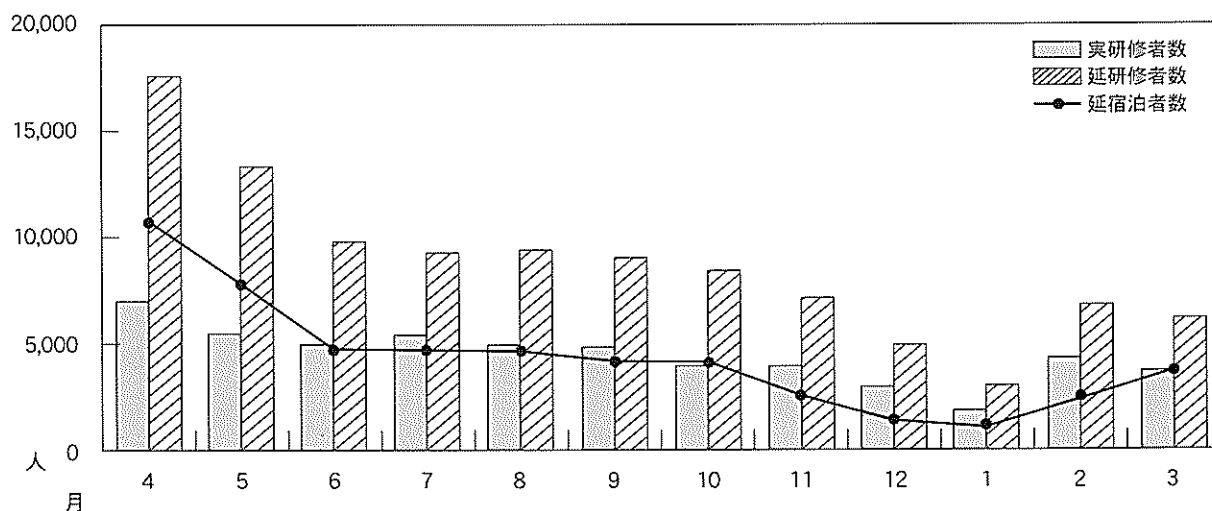
③ 社会教育関係者等の養成支援

	事業名	対象	期間	参加者数等
行政職員等研修	社会教育新任職員研修	生涯学習・社会教育新任課長・公民館長・係長・係員社会教育主事等	7月18日(火) 7月19日(水)	73名 51名
	市町村社会教育委員新任者研修	市町村社会教育委員就任後1年未満の者	7月3日(月)	67名
技能・技法研修	ファシリテーション技能基礎講座	県及び市町村の社会教育主事、社会教育関係職員、学校教職員、社会教育関係団体指導者	6月5日(月) 6月19日(月) 6月26日(月) 7月4日(火) 7月11日(火)	31名 32名 31名 30名 30名
	カウンセリング講座	県・市町村教育委員会及び各相談機関で相談業務に従事する相談員	10月2日(月) 10月30日(月) 11月1日(水) 11月20日(月) 11月27日(月) 12月4日(月)	39名 40名 37名 34名 37名 35名
	16mm映写機操作技術講習	県、市町村、学校、施設、団体等関係者	8月11日(金) 11月6日(月)	14名 9名
	宿泊体験教室事前講座	センター利用予定の小・中・高等学校教諭、団体等	6月16日(金) 2月23日(金)	17名 19名
	野外活動・レク実践講座	県及び市町村生涯学習・社会教育行政関係者、社会教育団体、学校関係者、民間指導者	6月24日(土) 9月16日(土)	18名 14名
	社会教育専門講座 ①青少年教育②社会教育体制づくり	市町村生涯学習・社会教育行政関係職員、県教育事務所職員、各社会教育施設職員	6月1日(木) 7月21日(金) 8月18日(金) 10月20日(金) 1月22日(月)	13名 10名 12名 9名 9名
課題研修	生きる力を育む子ども体験活動推進セミナー(学社連携・融合事業)	市町村教育委員会生涯学習・社会教育関係職員、学校教職員、地域活動指導員、地域子ども教室関係者、アンビシャス広場関係者、PTA、NPO、ボランティア関係者等	12月5日(火)	182名
	子育てアドバイザーセミナー	アドバイザー、子育て(支援)グループ関係者等	6月5日(月)(社セ) 9月7日(木)(筑後地区) 9月15日(金)(筑豊地区) 10月5日(木)(福岡地区) 10月13日(金)(社セ)	98名 51名 79名 37名 42名
	男女共同参画推進セミナー	県及び市町村の生涯学習・社会教育関係職員・男女共同参画行政担当職員、女性団体リーダー等	9月9日(土)	140名
	高齢者社会参加促進セミナー	高齢者大学等事務局担当者及び県・市町村担当者等	3月9日(木)	73名
	NPO等連携・協働推進セミナー	県及び市町村行政職員、各市町村社会教育委員、NPO等関係者等	8月10日(木)	74名
	中国・四国・九州地区生涯学習実践研究交流会 第25回記念大会	生涯学習・社会教育関係者等	5月19日(金)～21日(日)	432名
交流研修				

2 施設の利用状況

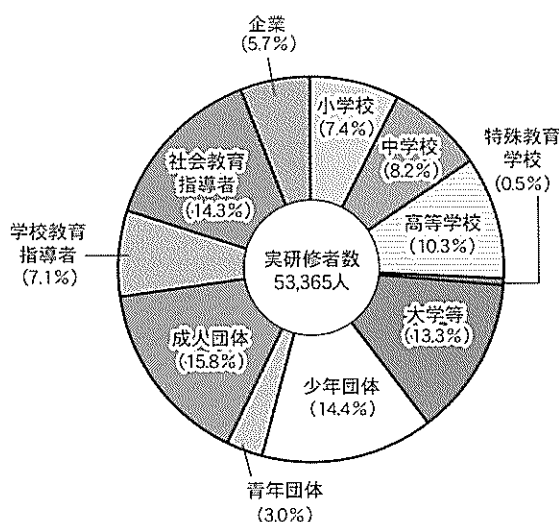
① 月別利用状況

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実研修者数	17	7,520	5,609	5,264	6,746	6,012	5,767	4,046	5,717	3,048	2,798	3,637	3,512	59,676
A	18	6,996	5,480	4,973	5,411	4,944	4,838	3,958	3,941	2,967	1,848	4,308	3,701	53,365
延研修者数	17	18,045	11,371	9,775	11,005	11,372	10,722	8,283	10,184	4,701	5,211	6,087	7,649	114,405
B	18	17,563	13,319	9,771	9,270	9,397	9,031	8,422	7,138	4,930	3,010	6,805	6,167	104,823
延宿泊者数	17	10,269	5,419	4,637	4,222	4,648	4,617	4,235	3,559	1,445	1,833	1,644	3,462	49,990
C	18	10,758	7,804	4,759	4,712	4,643	4,178	4,138	2,542	1,398	1,049	2,380	3,723	52,084
団体数	17	122	129	135	143	140	99	119	89	63	62	72	110	1,283
D	18	109	117	137	136	131	101	88	91	63	65	76	114	1,228
開所日数	17	30	30	29	30	31	28	29	28	26	25	26	29	341
E	18	30	29	28	30	31	28	29	28	26	25	26	29	339
宿泊可能日数	17	30	29	28	29	31	26	27	26	24	23	24	27	324
F	18	30	27	26	29	31	26	27	26	24	23	24	27	320
一日平均	研修者数	17	601.5	379.0	337.1	366.8	366.8	382.9	285.6	363.7	180.8	208.4	234.1	335.5
B/E→G	18	585.4	459.3	349.0	309.0	303.1	322.5	290.4	254.9	189.6	120.4	261.7	212.7	304.8
利用率	17	190.3	119.9	106.7	116.1	116.1	121.2	90.4	115.1	57.2	65.9	74.1	83.5	106.2
G/316→H	18	185.3	145.3	110.4	97.8	95.9	102.1	91.9	80.7	60.0	38.1	82.8	67.3	96.5
宿泊人数	17	342.3	186.9	165.6	145.6	149.9	177.6	156.9	136.9	60.2	79.7	68.5	128.2	154.3
C/F→I	18	358.6	289.0	183.0	162.5	149.8	160.7	153.3	97.8	58.3	45.6	99.2	137.9	158.0
宿泊率	17	108.3	59.1	52.4	46.1	47.4	56.2	49.7	43.3	19.1	25.2	21.7	40.6	48.8
I/316→J	18	113.5	91.5	57.9	51.4	47.4	50.9	48.5	30.9	18.4	14.4	31.4	43.6	50.0



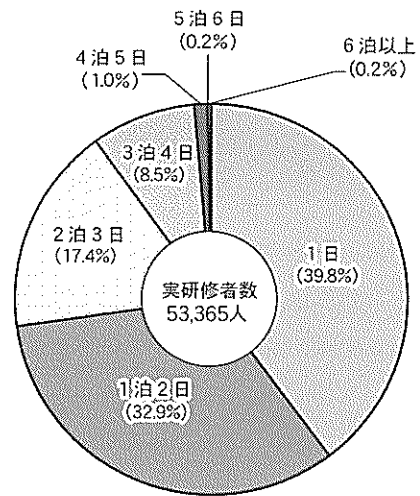
② 団体種別

区分	合計		割合
	団体数	研修者数	
学校利用			
小学校	108	3,973	7.4%
中学校	67	4,380	8.2%
高等学校	56	5,497	10.3%
特殊教育学校	11	260	0.5%
大学・短大・高専・専修・各種学校	109	7,095	13.3%
小計	351	21,205	39.7%
少年団体	171	7,684	14.4%
青年団体	36	1,579	3.0%
成人団体	382	8,451	15.8%
学校教育指導者	42	3,770	7.1%
社会教育指導者	166	7,641	14.3%
企業	80	3,035	5.7%
その他	0	0	0.0%
合計	1,228	53,365	100.0%



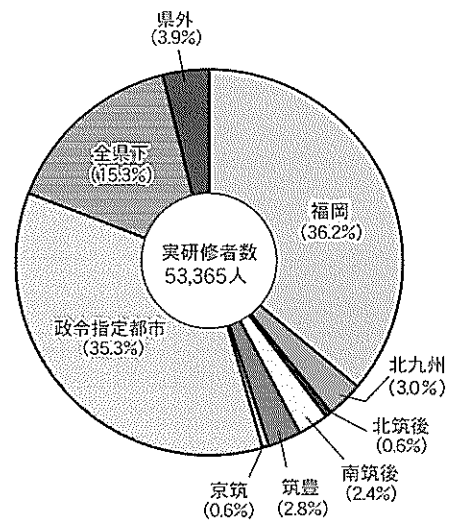
③ 一日研修・宿泊研修

区 分	合 計		割合
	団体数	研修者数	
1 日	771	21,244	39.8%
1 泊 2 日	297	17,555	32.9%
2 泊 3 日	96	9,292	17.4%
3 泊 4 日	50	4,559	8.5%
4 泊 5 日	10	530	1.0%
5 泊 6 日	1	95	0.2%
6 泊 以上	3	90	0.2%
合 計	1,228	53,365	100.0%



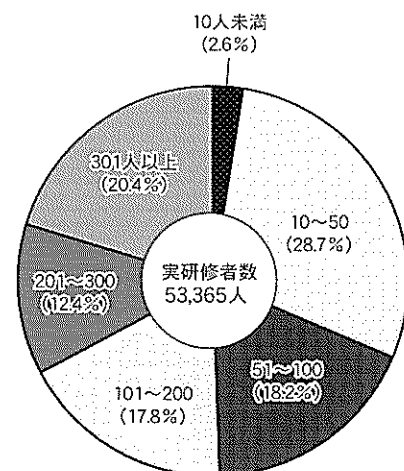
④ 地域別

区 分	合 計		割合
	団体数	研修者数	
福岡	537	19,296	36.2%
北九州	24	1,582	3.0%
北筑後	12	315	0.6%
南筑後	70	1,286	2.4%
筑豊	35	1,501	2.8%
京筑	13	307	0.6%
政令指定都市	370	18,840	35.3%
全県下	99	8,147	15.3%
県外	68	2,091	3.9%
合 計	1,228	53,365	100.0%



⑤ 団体規模別

区 分	合 計		割合
	団体数	研修者数	
10人未満	329	1,381	2.6%
10～50	647	15,337	28.7%
51～100	134	9,693	18.2%
101～200	67	9,475	17.8%
201～300	26	6,598	12.4%
301人以上	25	10,881	20.4%
合 計	1,228	53,365	100.0%



3 学習相談状況

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	相談方法		
相 談 件 数		89	135	207	153	171	126	202	137	158	134	117	44	1,673	来所	電話	文書
相 談 人 数		89	135	207	153	171	126	202	137	158	134	117	44	1,673			
相 談 者 別 内 訳	① 市 町 村 (首長部局・教委等)	29	27	45	25	11	17	8	9	18	13	13	7	222	20	202	0
	② 県 (知事部局・③を除く教委)	3	6	12	3	1	5	2	2	1	3	9	0	47	13	34	0
	③ 教育事務所・県立社会 教育施設	10	7	29	44	37	35	22	24	14	28	24	11	285	98	187	0
	④ 学校(幼・小・中・高・大)	18	44	64	50	42	26	55	51	33	56	39	8	486	123	363	0
	⑤ 団 体 ・ グ ル ー プ	3	16	23	18	19	16	18	26	19	19	16	11	204	91	109	4
	⑥ 個 人	15	21	25	12	59	21	97	20	67	6	12	6	361	62	292	7
	⑦ 県 外 (県・市町村・その他)	8	7	2	1	1	3	0	4	3	8	2	0	39	1	36	2
	⑧ そ の 他	3	7	7	0	1	3	0	1	3	1	2	1	29	2	27	0
計		89	135	207	153	171	126	202	137	158	134	117	44	1,673	410	1,250	13
相 談 分 野 別 内	① 施 設	8	15	17	8	11	5	17	4	2	1	1	1	90	2	88	0
	② 団 体 ・ グ ル ー プ	2	3	2	0	1	5	1	3	2	3	8	0	30	0	24	6
	③ 人 材	19	22	15	11	7	10	8	8	5	17	5	3	130	3	126	1
	④ 催 し	8	15	14	6	4	18	81	6	58	7	3	2	222	3	215	4
	⑤ 図 書 ・ 資 料	7	4	21	25	79	32	5	16	8	15	22	6	240	148	92	0
	⑥ 視 聴 覚 教 材	27	58	121	89	64	43	85	85	68	85	72	18	815	244	571	0
	⑦ 資 格	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	2	1
	⑧ 窓 口	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	1	5	2	3	0
	⑨ 先 進 事 例	4	1	0	3	1	3	0	2	2	1	0	0	17	1	16	0
	⑩ 学 習 プ ロ グ ラ ム	3	4	1	0	0	3	0	1	3	2	0	0	17	1	16	0
	⑪ そ の 他	11	12	15	11	4	7	5	11	7	3	6	12	104	6	97	1
計		89	135	207	153	171	126	202	137	158	134	117	44	1,673	410	1,250	13

注)図書・資料利用者を含む。

4 家庭教育相談「親・おや電話」

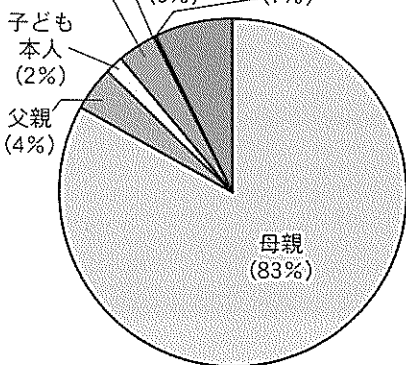
① 月別相談件数

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
昼 間	78	89	98	76	51	90	101	75	54	52	68	66	898
夜 間	31	33	42	23	26	35	39	25	11	23	22	25	335
昼 + 夜	109	122	140	99	77	125	140	100	65	75	90	91	1,233

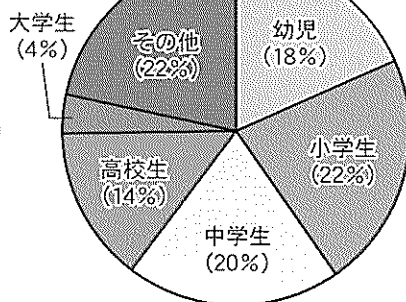
② 相談者・対象者・地区別相談件数

		昼 間	夜 間	昼 + 夜	割 合
相 談 件 数		898	335	1,233	100%
相 談 者	母 親	749	275	1,024	83%
	父 親	42	10	52	4%
	子 ども 本 人	17	4	21	2%
	祖 父 母 ・ 親 族 等	27	17	44	4%
	他 機 関 等	2	2	4	0%
	そ の 他	61	27	88	7%
	小 計	898	335	1,233	100%
対 象 者	幼 児	154	73	227	18%
	小 学 生	213	56	269	22%
	中 学 生	188	59	247	20%
	高 校 生	149	29	178	14%
	大 学 生	34	10	44	4%
	そ の 他	160	108	268	22%
	小 計	898	335	1,233	100%
地 区	福 岡 市	317	185	502	41%
	北 九 州 市	72	16	88	7%
	福 岡 地 区	201	56	257	21%
	北 九 州 地 区	22	5	27	2%
	筑 豊 地 区	39	7	46	4%
	京 築 地 区	9	6	15	1%
	筑 後 地 区	89	23	112	9%
	そ の 他	13	3	16	1%
	不 明	136	34	170	14%
	小 計	898	335	1,233	100%

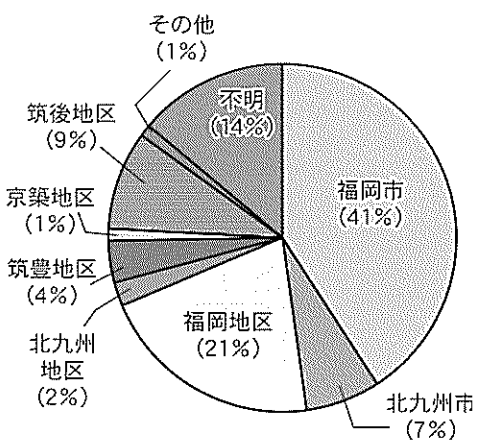
祖父母・親族等
(4%)
他機関等
(0%)
その他
(7%)



相談者別相談件数の割合



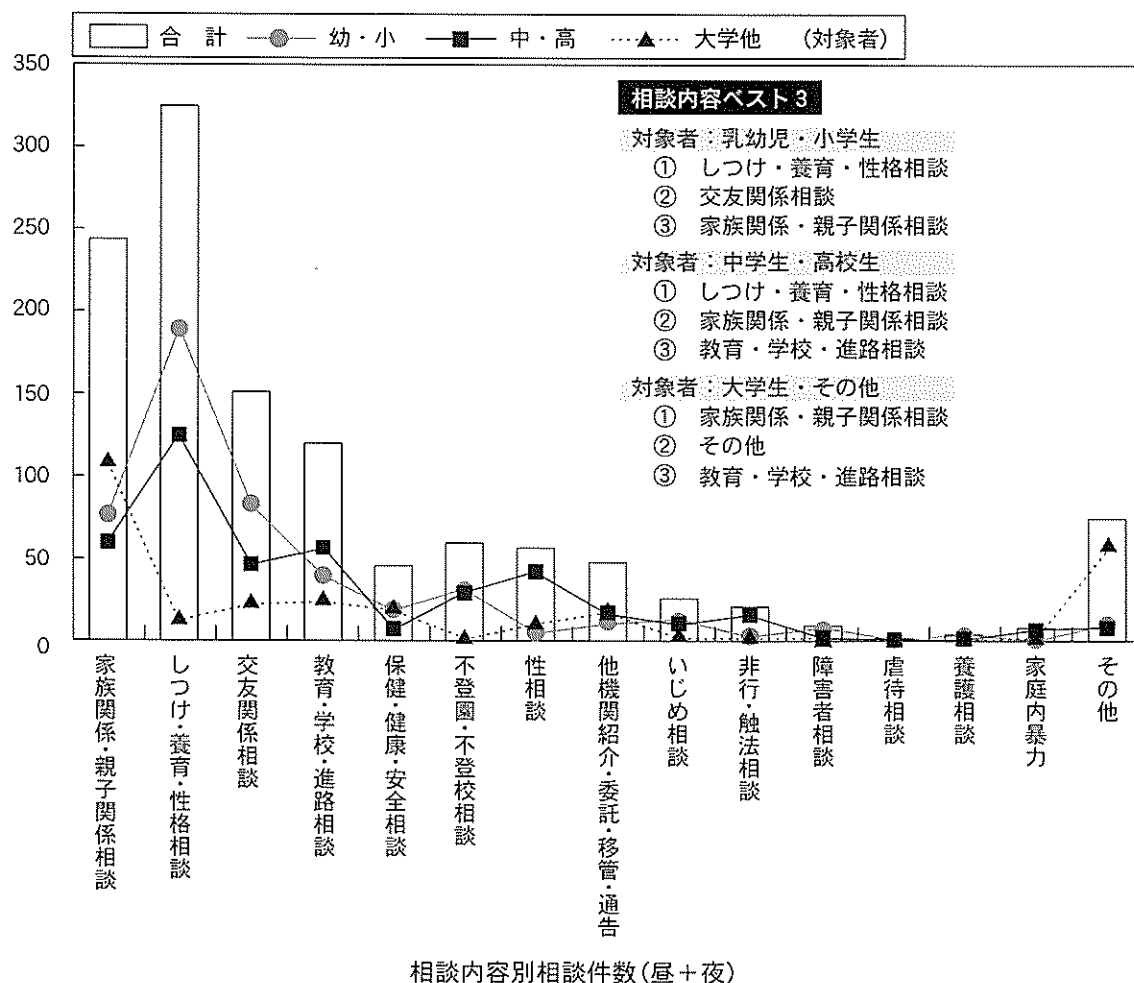
対象者別相談件数の割合



地区別相談件数の割合

③ 相談内容別相談件数

相談内容	対象者	昼 間			夜 間			昼 + 夜			合 計	割 合
		幼・小	中・高	大学他	幼・小	中・高	大学他	幼・小	中・高	大学他		
家族関係・親子関係相談 (育児ストレス含む)		57	54	64	20	6	45	77	60	109	246	20%
しつけ・養育・性格相談		139	101	10	52	24	2	191	125	12	328	27%
交友関係相談(親同士含む)		64	38	14	20	8	9	84	46	23	153	13%
教育・学校・進路相談		25	44	18	15	12	7	40	56	25	121	10%
保健・健康・安全相談 (心身症・うつ・チック症含む)		13	6	10	6	1	10	19	7	20	46	4%
不登園・不登校相談		27	26	0	4	2	1	31	28	1	60	5%
性 相 談		3	27	6	2	15	4	5	42	10	57	5%
他機関紹介・委託・移管・通告		8	14	14	4	4	4	12	18	18	48	4%
いじめ相談(ケンカ含む)		10	7	0	2	4	3	12	11	3	26	2%
非行・触法相談		3	12	0	0	4	2	3	16	2	21	2%
障害者相談		7	1	0	0	1	0	7	2	0	9	1%
虐待相談		1	1	0	0	0	0	1	1	0	2	0%
養護相談		1	0	1	2	0	0	3	0	1	4	0%
家庭内暴力		1	3	0	0	3	1	1	6	1	8	1%
そ の 他		8	3	38	2	4	20	10	7	58	75	6%
合 計		367	337	175	129	88	108	496	425	283	1204	100%
		(不 明 19)			(不 明 10)			(不 明 29)				



施設概要

1 建築概要

- 敷地面積 201,750m²
- 建築面積 5,838m²
- 建物延面積 12,492m²
- 建築構造 鉄筋コンクリート造
- 建築工事期間 起工 昭和57年11月19日
竣工 昭和59年3月31日
- 総工事費 4,321,457,000円
- 開所 昭和59年4月1日

1階	2,725m ²
2階	4,958m ²
3階	2,434m ²
4階	2,315m ²
P1階 (塔屋)	60m ²

2 施設設備

① 宿泊施設・設備

階	施設名	面積(m ²)	定員	機能	設備
2～4階	宿泊室	延べ 1,262	316ベッド	宿泊	4人用 11室 8人用 34室
2・3階	談話室	延べ 241		交流、研修	
3階	浴室	155		大浴室、中浴室、身体障害者用浴室	

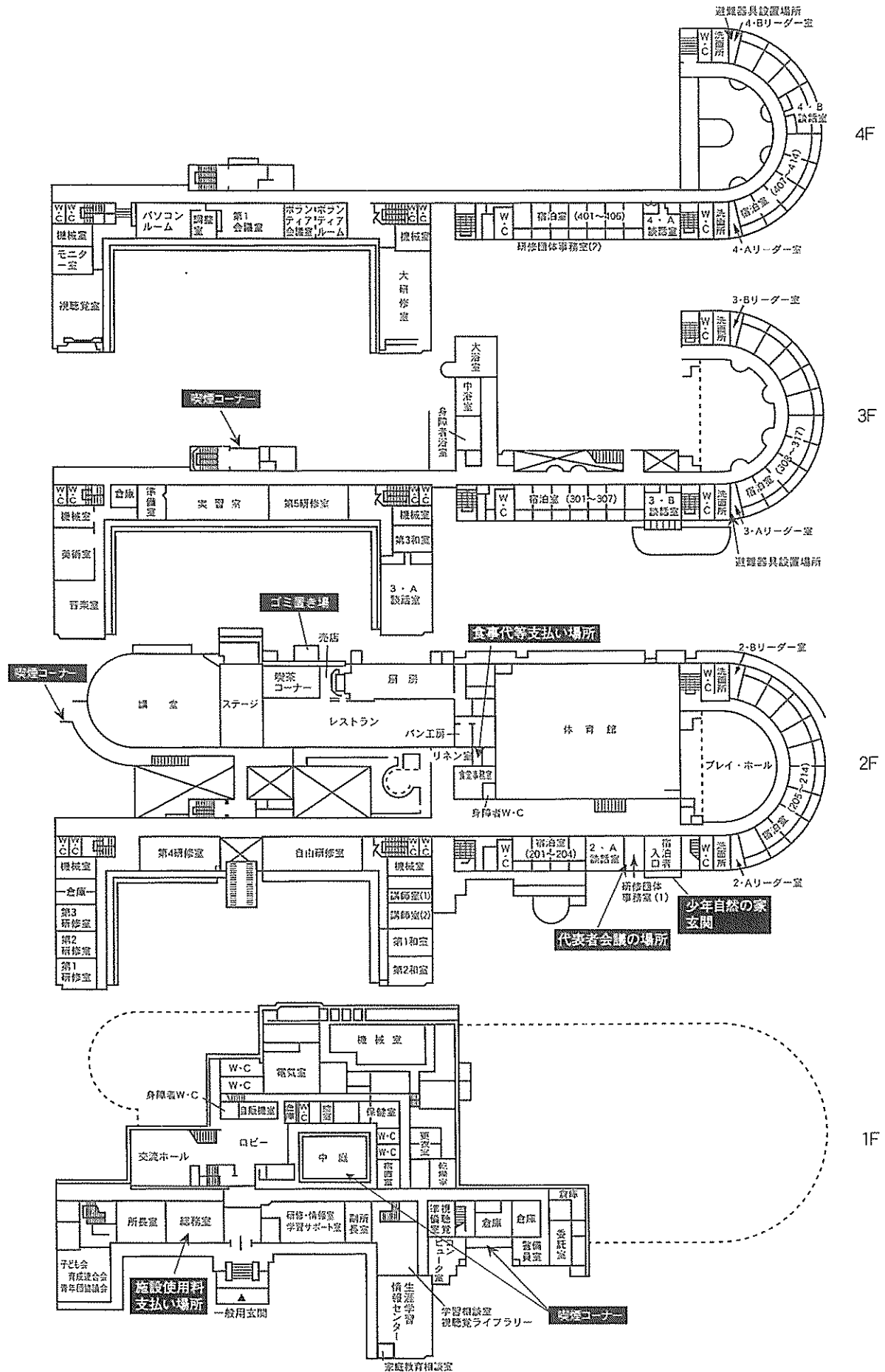
駐車場		80台		第1・第2駐車場
-----	--	-----	--	----------



② 研修施設・設備

階	室 名	定員(人)	機 能	設 備
4階	視 聴 覚 室	80	視聴覚研修 (スロープ式研修室)	16ミリ映写機、ビデオ (VHS、β、Uマチック)、ステレオ、モニターテレビ、スライド
	パソコンルーム・調整室	20	パソコン研修	パソコン
	ボランティアルーム		ボランティアの交流	机、応接セット、書棚
	第 1 会 議 室	16	会議	机
	大 研 修 室	120	講義、研修	OHP、ビデオ (VHS)、16ミリ映写機、モニターテレビ
3階	音 楽 室	40	ミニコンサート、音楽練習場	ピアノ、アコーディオン、ステレオ、円テーブル
	美 術 室	36	美術研修、工作	石こう像、版画プレス
	実 習 室	48	陶芸、七宝焼、木工の製作	陶芸窯、七宝焼炉、粘土ろくろ
	第 5 研 修 室	48	講義、研修	OHP、黒板 机
	和 室 (第 3)	12	和式研修、茶道、華道	座テーブル、茶道具
2階	講 堂	500	大会、研修室、講演会、映写会	16ミリ映写機、スライド映写機、ピアノ、ステージ
	レ ス ト ラ ン	238	茶話会、軽食、喫茶、クッキング	パン工房
	第 1 研 修 室	18	講義、研修	OHP、黒板、机、移動式モニター
	第 2 研 修 室	18		
	第 3 研 修 室	30		
	第 4 研 修 室	60		
	自 由 研 修 室	60		
	和室(第1・第2)	45	和式研修室(16畳・20畳)	座テーブル
	体 育 館		バレー2面、バトミントン3面、バスケットボール1面(練習2面)、フリーテニス(3面)	各種ネット、柔道畳
	ブ レ イ ホ ール		軽スポーツ、交流の場、レクリエーション	オルガン
1階	資 料 室		生涯学習関係の図書、資料の閲覧	書棚、閲覧机
	交 流 ホ ール		交流、憩いの場、学習作品の展示	テレビ、応接セット、ピアノ、ビデオ
	控 室		講師控室、学習相談	机、応接セット
	所 長 室・事 務 室		所の管理運営	
	視聴覚ライブラリー		視聴覚教材の貸出し、相談	16ミリ映画、ビデオ教材
野外施設	グ ラ ウ ンド	400	ソフトボール、サッカー	各種スポーツ用具
	野 外 炊 飯 場	100	調理炊飯	炊飯用具一式
	あ じ さい 炊 飯 場	50	野外炊飯	調理台
	野 外 劇 場	60	キャンプファイヤー、レクリエーション、野外音楽	
	レクリエーション広場		レクリエーション	
	野 鳥 観 察 小 屋	30	野鳥観察	観察室
	り ん どう 小 屋	20	自然観察、天体観測、交流の場	荒天避難所
	た け の こ 広 場	300	朝・夕のつどい、キャンプファイヤー	放送施設、全面舗装
	あ じ さい 小 屋	20	工作	陶芸窯
	あ じ さい 広 場	100	工作	テーブル

③ 施設平面図



3 福岡県視聴覚ライブラリー

① 視聴覚教材

社会教育総合センター内に県視聴覚ライブラリーを設置し、次のような教材の貸出をおこなっています。

16ミリフィルム 1,359本

ビデオ 2,409本

DVD 58本

合計 3,826本

領域の内訳

学 校 教 育	領 域	16ミリフィルム	ビデオ	DVD	社 会 教 育	領 域	16ミリフィルム	ビデオ	DVD
	国 語	23	86	17		教 養 ・ 情 操	264	605	21
学 校 教 育	社 会	82	269	3	社 会 教 育	健 康 ・ 体 力	69	119	12
	算 数 ・ 数 学	6	4	0		家 庭 生 活	59	92	2
	理 科	120	188	4		家 庭 教 育	120	308	2
	生 活 科	2	18	0		地域社会生活	169	310	7
	音 楽	5	13	0		人 権 ・ 同 和	164	158	1
	図 工 ・ 美 術	16	16	0		国 民 生 活	37	116	7
	技 術 ・ 家 庭	8	22	0		国 際 性	17	63	0
	保 健 ・ 体 育	41	171	13		職業生活一般	9	18	0
	道 徳	238	278	22		職業の知識・技術	2	83	0
	特 別 活 動	242	546	37		学習者の特性	53	70	4
						学習援助の方法	56	134	1
						社会教育施設	18	9	0
						一 般 映 画	92	115	1
自 作 ビ デ オ					自 作 ビ デ オ	県コンクール入賞作品	0	76	0
						社教センター作品	0	13	0
						アニメーション作品	200	202	7

(平成19年4月1日現在)

※所有本数と領域別の合計本数が異なるのは、1本のフィルム又はビデオが複数の領域で活用が出来るためです。

16ミリフィルム、ビデオ、DVD等

送料往復無料 となりました

子どもからお年寄りまで幅広くご利用いただける教材がそろっています。



幼稚園
で

学校で

公民館
で

グループ
で



お問い合わせください
感動を電話1本で
お届けします！

4 利 用 案 内

当センターは、広く県民の生涯学習を推進する社会教育施設であり、いつでも、だれでも利用出来る体制を整備しています。

利 用 内 容		申 し 込 み 方 法 等	備 考
相 談	学習相談	だれでも気軽に相談できます。 ☎092-948-0728 E-mail:soudan@fsg.pref.fukuoka.jp	電話による相談の他 電子メールによる相談 も受け付けています。
	学庭教育 相談「親・ おや電話」	だれでも気軽に相談できます。 ☎092-947-3515 月曜日～土曜日まで9:00～24:00 (ただし、第2月曜日・祝日・年末年始を除く)	専門の相談員を配置 しています。
図 書 資 料 関 覧		資料室・ロビーの資料が閲覧できます。	
視 聴 覚 教 材 の 利 用		利用申し込みは利用の3か月前から受け付けます。 電話での申し込みによる発送も行います。貸出期間 は7日以内、一回の貸し出しは5本以内とします。 毎週水曜日発送。送料往復無料です。 受付は休所日を除く毎日8:30～17:00 ☎092-947-3514	
研 修		主催事業と、学校やグループ団体等の研修の受入 れをしています。適正な研修計画であれば、だれで も利用できます。また、5人以上であれば、宿泊研 修もできます。 利用開始日の6か月前の月始めから1か月前まで に申し込んでください。 事前に電話で相談してください。 ☎092-947-3511	ただし、全国規模の 大会や研究集会、学校 の教育計画として行う 研修などで、特に必要 があると認めた場合は1 年前から申し込みを受 け付けます。
見 学 ・ 視 察	団 体	見学希望日の1週間前までに電話で申し込んでく ださい。 ☎092-947-3511	
	個 人	随時受け付けます。	

○休 所 日

毎月第2月曜日、第4日曜日、年末年始(12月28日～翌年1月4日)

○必要な経費

施設を使用する場合は、福岡県立社会教育総合センター使用料条例(昭和58年福岡県条例第24号)に定める使用料が必要です。

その他、食費として朝食380円(小370円・幼200円)、昼食590円(小560円・幼300円)、夕食 660円(小620円・幼330円)と、宿泊研修の場合、シーツのクリーニング代120円が必要です。

※ () 内の小は小学生料金、幼は幼児(4歳以上就学前)料金です。

5 使用料一覧

研修室使用料一覧表

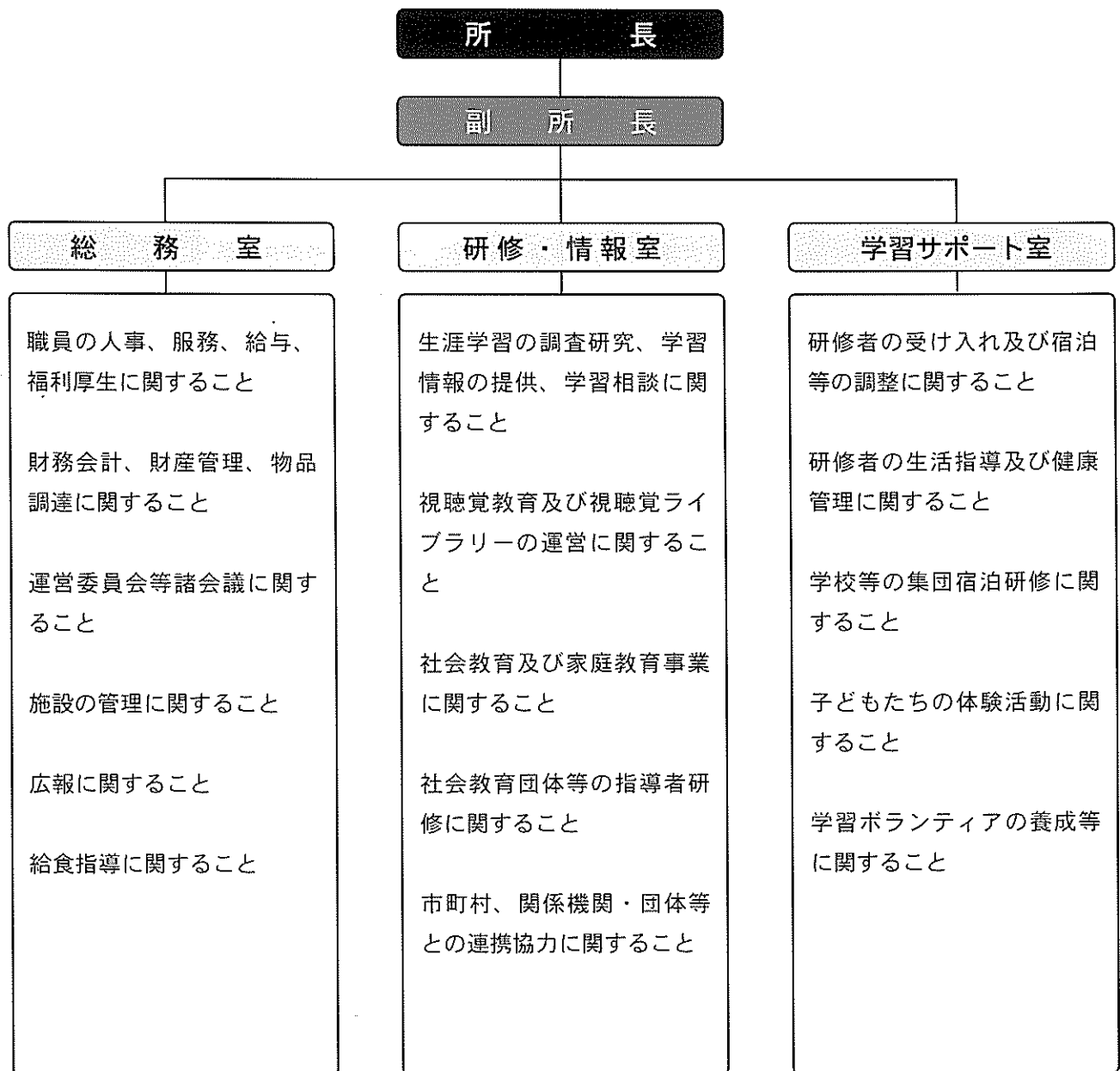
	利用時間 ↓ 研修室	9:00 ↓ 12:00	13:00 ↓ 17:00	19:00 ↓ 21:00	9:00 ↓ 17:00	13:00 ↓ 21:00	9:00 ↓ 21:00
2 F	第1研修室	690円	920円	460円	1,840円	1,840円	2,760円
	第2研修室	690円	920円	460円	1,840円	1,840円	2,760円
	第3研修室	1,050円	1,400円	700円	2,800円	2,800円	4,200円
	第4研修室	1,950円	2,600円	1,300円	5,200円	5,200円	7,800円
	自由研修室	1,950円	2,600円	1,300円	5,200円	5,200円	7,800円
	第1和室	690円	920円	460円	1,840円	1,840円	2,760円
	第2和室	690円	920円	460円	1,840円	1,840円	2,760円
	講堂	10,680円	14,240円	7,120円	28,480円	28,480円	42,720円
3 F	音楽室	2,490円	3,320円	1,660円	6,640円	6,640円	9,960円
	美術室	1,410円	1,880円	940円	3,760円	3,760円	5,640円
4 F	大研修室	3,180円	4,240円	2,120円	8,480円	8,480円	12,720円
	視聴覚室	3,540円	4,720円	2,360円	9,440円	9,440円	14,160円
	宿泊室	1人1泊につき 1,180円					

※料金は税込みです。研修で必要な機材等の要望がありましたら、あらかじめ学習サポート室にお問い合わせください。(092-947-3511)





組織・機構



社会教育総合センターのグループ制の運営

当センターでは、総務室、研修・情報室、学習サポート室の各室長のもと、5名の主任による班編成や、下記のとおり室を超えてのプロジェクトチーム等を活用しながら、施策・業務の弾力的運営、効率化をめざしています。

- ① 広報チーム
- ② 危機管理・環境整備対策チーム



職員数

(平成19年度)

		常勤職員	非常勤職員	臨時職員	計
職員数	所 長	1			1
	副 所 長	1			1
	総 務 室	4	1	1	6
	研 修 ・ 情 報 室	8 (1)	10	2	20 (1)
	学 習 サ ポ ー ト 室	5	7		12
視 聴 覚 教 育 協 会				1	1
計		19 (1)	18	4	41 (1)

() は育休・産休者で内数



職員一覧

所 長 角 伸 幸
副所長 宮 野 哲 美

室名	室長	室 員	
総務室	高田俊哉	○企画主査 藤田益彦 主任主事 古川哲也 主任主事 藤原幸子	技術嘱託 末永あゆみ 臨時職員 猪上玲子
研修・情報室	諏訪康夫	○社会教育主事 恵良章 治子 ○社会教育主事 谷川裕 子貴 社会教育主事 安藤俊 祐司 社会教育主事 中村祐 順子 社会教育主事 菅原順 哲平 主 事 三村祥 一俊 主 事 吉村政 恵里 臨時職員 西村本 恵子 指導員 宮本志 保子 指導員 黒葛原	指導員 三井根弘子 相談員 山口弥江 相談員 山浦紀美 相談員 深瀬一子 相談員 相原晴子 相談員 相原理香 相談員 相原明子 家庭教育コーディネーター 吉川玲子 木ノ原元美
学習サポート室	山本隆治	○企画主査 白濱克彦 ○指導主事 小野稔 社会教育主事 朝比奈昌二 社会教育主事補 山崎陽子 指導員 井手裕司 指導員 萩尾志穂美	指導員 近藤潤一 指導員 大和忠輔 指導員 西谷福太郎 指導員 益田康一 指導員 千奈都

※○印は主任

視聴覚教育協会	臨時職員 藤井麻湖
---------	-----------

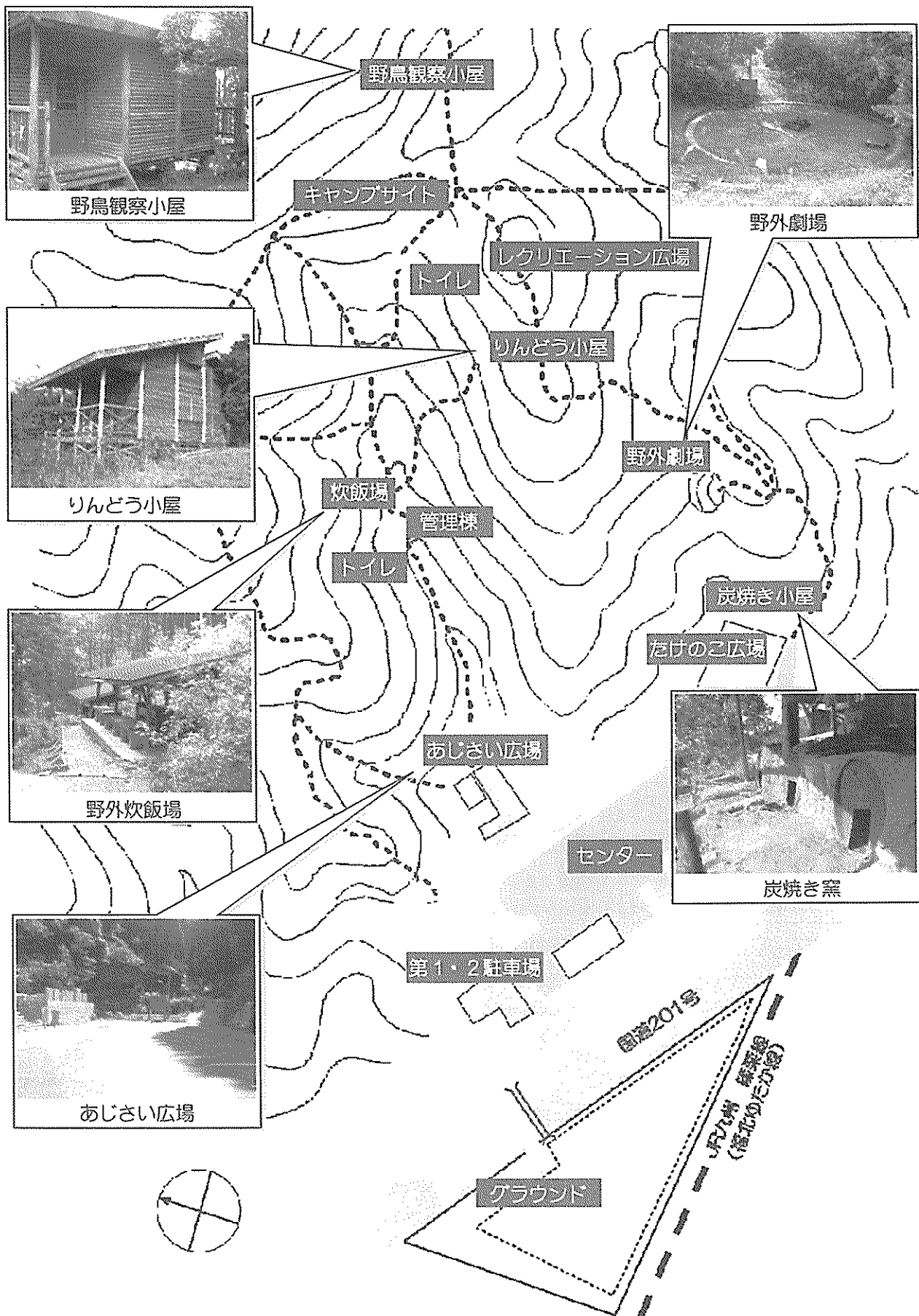


沿革

昭和53年 9月27日	県社会教育委員の会議で社会教育総合センターの設置についての機運が高まる。
10月 6日	県議会一般質問で社会教育総合センターの設置について質問がでる。
12月 4日	県社会教育委員の会議が県教育委員会に対して、社会教育総合センターの早期設置を建議する。
12月14日	県議会一般質問で社会教育総合センターの設置について、知事は、昭和54年度に調査費を計上し、昭和55年度に着工したい旨答弁する。
昭和54年 1月30日	社会教育関係団体が、16団体の連名で、県立総合社会教育施設の早期実現について知事に陳情する。
4月以降	社会教育課、青少年対策課を中心に先進地調査、準備委員会の人選などに入る。
7月18日	昭和54年度当初予算で調査費として、社会教育課、青少年対策課に各100万円が計上される。
11月28日	社会教育総合センター建設用地として糟屋郡篠栗町が浮上する。
12月10日	「第1回意見を聴く会」が開催される。社会教育総合センターの機能、施設内容について協議する。
12月21日	「第2回意見を聴く会」が開催される。事業内容、建設用地について協議する。
12月28日	篠栗町議会が全員協議会で社会教育総合センターの誘致を決議する。
昭和55年 1月19日	「第3回意見を聴く会」が開催される。
8月 8日	社会教育総合センター建設用地が篠栗町に決まる。
昭和57年 1月11日	造成工事に着工する。
11月19日	建築工事に着工する。
12月10日	造成工事が完了する。
昭和58年 4月 1日	福岡県立社会教育総合センター設立準備担当職員5人が発令される（社会教育課内）。
12月26日	福岡県立社会教育総合センター使用料条例（昭和58年福岡県条例第24号）が公布される。
昭和59年 1月10日	福岡県立社会教育総合センター設立準備室が社会教育課内に設置（職員7人）される。
1月10日	研修団体の利用申込みの受付を始める。
1月26日	建築工事定礎式が行われる。
3月 1日	福岡県立社会教育総合センター及び福岡県立社会教育総合センター少年自然の家組織規則（昭和59年福岡県教育委員会規則第1号）が公布される。
3月 1日	福岡県立社会教育総合センター等の利用等に関する規則（昭和59年福岡県教育委員会規則第3号）が公布される。
3月15日	福岡県立社会教育総合センター使用料条例施行規則（昭和59年福岡県教育委員会規則第9号）が公布される。
4月 1日	福岡県公の施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例（昭和58年福岡県条例第23号）により、福岡県立社会教育総合センター及び福岡県立社会教育総合センター少年自然の家が設置される。
4月 1日	安部徹所長（県教育庁教育次長兼任）以下34人が福岡県立社会教育総合センター職員に発令される。
4月10日	福岡県視聴覚教育協会事務局の社会教育総合センター内への移転に伴い、県視聴覚ライブラリーを同センターに開設する。
8月20日	社会教育総合センターの所章（シンボルマーク）が決まる。
9月10日	福岡県立社会教育総合センター及び福岡県立社会教育総合センター少年自然の家の落成式を挙行する。

昭和60年 3月 9日	野外活動施設（野鳥観察小屋、野外劇場、レクリエーション広場、体育庫、避難小屋）が完成する。
5月16日	視聴覚教材の利用等に関する規則（昭和60年福岡県教育委員会規則第7号）が公布される。
昭和61年 4月 1日	第2代所長に加来宣幸、次長に高倉豊が就任する。
12月20日	上山窯が完成する。
昭和63年 4月 1日	第3代所長に山口春禮、次長に古賀雉里が就任する。
平成元年 4月 1日	第4代所長に濱地甫伯が就任する。
6月14日	第5代所長に鹿毛勲臣が就任する。
7月	社会教育総合センター施設ボランティア「若杉の会」が発足する。
平成3年 4月 1日	副所長に小野敏弘が就任する。
平成4年 4月 1日	第6代所長に窪田康徳が就任する。
7月24日	社会教育総合センターの利用者が100万人を突破する。
12月24日	キャンプ炊飯場新設。
平成5年 4月 1日	第7代所長に松崎輝生が就任する。
平成6年 4月 1日	第8代所長に大神俊明、副所長に石川元彬が就任する。
10月16日	あじさい小屋が完成する。
平成8年 4月 1日	第9代所長に森本精造、副所長に弥永親一が就任する。
9月 1日	施設ボランティア「若杉の会」の名称を学習ボランティア「若杉の会」に変更する。
平成10年 4月 1日	副所長に伊藤高次が就任する。
5月	ふくおか生涯学習ネットワーク運用開始する。
7月14日	レストランがバイキング化され、パン工房が設置される。
平成11年 2月12日	炭焼窯が完成する。
3月	学習ボランティア「若杉の会」10年のあゆみを発行し、5月8日に10周年記念交流会を開催する。
4月 1日	副所長に正平辰男が就任する。
平成12年 3月31日	山道等災害復旧工事が完了する。
4月 1日	第10代所長に瓜生浩平、副所長に原宜賢が就任する。
4月	ふじっ子林道が開通する。
平成13年 2月	パソコンルームを設置する。
4月 1日	第11代所長に安野義勝、副所長に宿里聰士が就任する。
11月18日	社会教育総合センターの利用者が200万人を突破する。
平成14年 4月 1日	第12代所長に重松孝士が就任する。
平成15年 3月	緊急地域雇用創出特別基金事業により、山林を整備する。
4月 1日	副所長に濱田信也が就任する。
11月14日	創立20周年記念行事（式典、体験活動フォーラム、体験活動カーニバル）を実施。
12月 1日	正門前に信号機設置。
平成16年 3月31日	あじさい炊飯場が完成する。
4月 1日	福岡県立社会教育総合センター組織・機構改編（グループ制導入）
7月14日	釜山地域平生教育情報センターと相互交流協力協定締結
平成17年 4月 1日	第13代所長に菊川律子、副所長に高橋章が就任する。
10月 1日	ホームページ「ふくおか子育てパーク」開設
平成18年 4月 1日	副所長に宮野哲美が就任する。
平成19年 4月 1日	第14代所長に角伸幸が就任する。

施設配置図





● 新着情報

■ 一覧

- 中国・四国・九州地区生涯学習実践研究交流会第26回大会 参加申込受付中(5月19～20日開催)
- 「新しい風」に新事例掲載！(きんしゃいきやんぱす)
- 社会教育行政相談(通年)参加申込受付中
- 社会教育基本研修(5月23日～24日等開催)参加申込受付中
- 野外活動Howto講座(5月26日、9月29日開催)参加申込受付中

● 今月の生涯学習情報

イベント情報

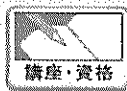
生涯学習関連

子育て関連

最新事例 新しい風

お役立ち情報

🐝 ここからみつける！あなたの学び 調べたいジャンルをクリックしてください



福岡県立社会教育総合センター



生涯学習センターと少年自然の家の機能を併せ持ち
 ・県民の学習活動支援
 ・子どもの育成支援
 ・社会教育関係者等の養成支援を行う中心的な施設です。
 企業の研修等にもご利用いただけます。

センターNEWS

事業のご案内

利用のご案内

施設の空き状況照会

体験活動のご案内

学習・家庭教育相談

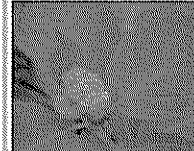
視聴覚ライブラリー案内

学習ボランティア「若杉の会」

交通案内

レストランメニュー

もうすぐ咲きそうです。
2007/5/10



とも多いですが、あじさいについては存分に咲いて欲しいですね。

社会教育総合センターには「あじさい広場」があるように、あじさいがたくさん生えています。雨が降りこれからの季節は野外活動等がやりにくくて困るこ

福岡県の生涯学習・社会教育施設

福岡県立美術館

福岡県立図書館

少年自然の家「玄海の家」

英彦山青年の家

九州歴史資料館

福岡県青少年科学館

アクション福岡

久留米総合スポーツセンター

国立夜須高原青少年自然の家

市町村HPリンク

福岡県HPリンク

ふくおか子育てパーク

データ・リンク

福岡県内データ集

国等のデータ集

リンク集

文化財情報

ふくおか民俗芸能ライブラリー

福岡県教育文化奨学財団

生涯学習情報をお寄せください

生涯学習の情報提供はこちらから

Google

Google 検索

wwwを検索

「ふくおか生涯学習ネットワーク」を検索

メールマガジンメルかぜ会員募集

メルマガに新規登録

登録解除・配信変更

バックナンバー



福岡県立社会教育総合センター

〒811-2402 福岡県糟屋郡篠栗町大字金出3350-2 Tel. 092-947-3511 Fax. 092-947-8029 Email. mail@fsg.pref.fukuoka.jp

ふくおか 子育てパーク

出会い、学び、つながるサイト

パソコン <http://www.kosodate.pref.fukuoka.jp/>
携帯 <http://www.kosodate.pref.fukuoka.jp/m>

探したいキーワードを入力してね！

検索

◀トップページ

contents

- 子育てWEB講座 乳幼児期編
学童期編
思春期編
- 連載子育てコラム
- 講座・イベント情報
- 子育てグループ情報
- 子育て川柳
- 子育て情報お届けたいっ！
- 食のオススメ掲示板
- リンク集

子育て相談コーナー

お悩み相談 Q&A集

メールによる
相談受付中 NEW!

電話による
家庭教育相談

092(947)3515

管理人だより
「ほっと一息」

お役立ち子育て情報をお届け
メルマガ読者募集!

このHPは文部科学省「ITを活用した次世代家庭教育支援手法開発事業」の一環として開設しているものです。
この事業は調査事業です。皆様と共によりよいものに育てていきたいと考えております。

福岡県立社会教育総合センター
〒811-2402
福岡県糟屋郡篠栗町大字金出
3350-2
Tel. 092-947-3511
info@kosodate.pref.fukuoka.jp

福岡県立社会教育総合センター
の子育て関連事業・調査データ

プライバシーポリシーについて

▶トップページへ

新着情報

- 2007-5-9 子育てグループに「のびのびクラブ(宗像市)」「きんしゃいきゃんぱす(福岡市東区)」追加
- 2007-5-8 子育て情報お届けたいっ！に「子どもの本の講演会～鳥越信氏を迎えて」「親と子のためのおはなしコンサート」「託児DEシネマ 第2弾!!」他のお知らせ
- 2007-5-7 「きんしゃいきゃんぱす」がふくおか生涯学習ネットワークに掲載
- 2007-5-7 4月のイチオシ賞発表！食「ワカメのおやき」バセリさん 川柳「癒される 子供に会いに 直帰する」まさん
- 2007-5-7 食のオススメ掲示板に、10歳の男の子SORAくんからお得意料理3品が届きました。
- 2007-5-1 連載子育てコラム「きんしゃいきゃんぱす 山下智也さん」スタートです！

子育てWEB講座

パソコンで子育てを楽しく学習
最新の講座の案内

- 乳幼児期編
～食べる・育つ～
- 学童期編
～生活体験を豊かに～
- 思春期編
～心と体の健康管理～



連載子育てコラム

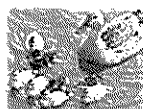
現役パパ・ママによる涙と笑いの子育てコラム



>>>詳しく見る

講座・イベント情報

子どもと一緒にマチに飛び出そう!
エリア別の情報満載



>>>詳しく見る

子育てグループ情報

仲間づくり、居場所さがしはここから



>>>詳しく見る

子育て川柳

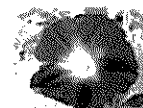
優秀な作品には、「今月のイチオシ賞」として毎月1名様に図書カード1000円分を送呈!



>>>詳しく見る

子育て情報お届けたいっ!

県内各地のメンバーが地域密着&テーマ別の情報をお届け



>>>詳しく見る

食のオススメ掲示板

優秀なレシピには、「今月のイチオシ賞」として毎月1名様に図書カード1000円分を送呈!

カンタン、栄養満点、子どもが喜ぶ、子どもといっしょに作れる、アレルギーつ子でも大丈夫...など子育てに役立つレシピの掲示板



>>>詳しく見る

リンク集

子育て・家庭教育に関するリンク集



>>>詳しく見る

子育て相談コーナー

ひとりで悩まないで、
まずはお気軽に相談ください。

メールによる相談 NEW!



「先輩ママ」がお答えします。
お気軽にご相談下さい。

子育てQ&A

乳幼児期・学童期・思春期別
お悩み相談Q&A集

電話による家庭教育相談

「親・おや電話」

☎092(947)3515

管理人だより

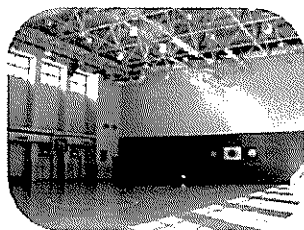
「ほっと一息」

5人以上の
グループで
どなたでも
利用できます

学校や団体、企業研修や 家族間の交流に最適です

施設紹介

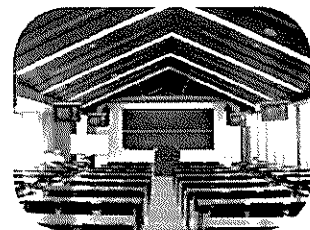
研修室	定員
講堂	500名
大研修室	120名
視聴覚室	80名
体育館	—
野外炊飯	100名
宿泊室	316名
第1～第4研修室	18名～60名
自由研修室	60名
和室(第1・第2)	45名
グラウンド	—



体育館



レストラン



大研修室

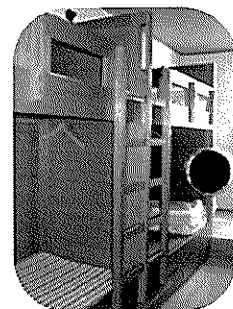
研修や野外活動、スポーツ活動等の学習のために、
研修室や講堂、体育館、プレイホールを始め、自然散策コース、
登山・ハイキングコース、野外炊飯場
などを整備しています。



野外炊飯場



講堂



宿泊室

料金のご案内

レストラン	朝食	380円
	昼食	590円
	夕食	660円
シーツクリーニング	1セット(2枚)	120円
宿泊室	1人1泊	1180円

※施設使用料や宿泊料には、免除や減額の規定があります
詳しくはホームページ「ふくおか生涯学習ネットワーク」
「利用のご案内」をご覧ください

●家庭教育相談「親・おや電話」

TEL 092-947-3515

子育ての悩みなど気軽にお電話ください

●学習相談

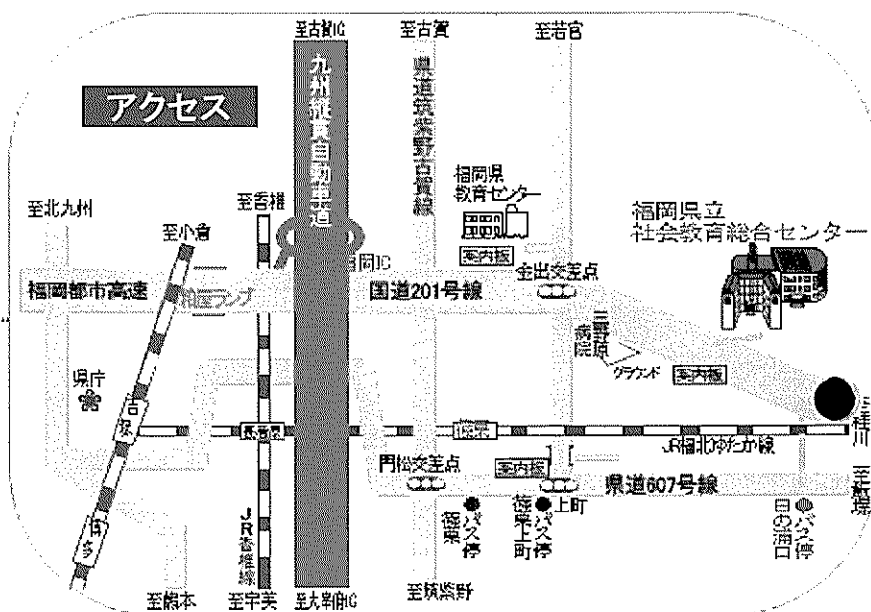
TEL 092-948-0728

人材情報や講座の企画などお尋ねください

●視聴覚ライブラリー

TEL 092-947-3514

教育に関するビデオや16ミリ、DVDなど3,800本
※貸出、往復の送料が無料です



→ JRをご利用の場合

博多駅～篠栗駅 約20分
駅から徒歩20分
タクシー約5分

→ 西鉄バス(310番)をご利用の場合

天神日銀前～日の浦口 約40分
バス停から徒歩5分

→ 乗用車ご利用の場合

高速道路(福岡・C)
または都市高速道路(粕屋ランプ)から約12分

●お問い合わせ●

福岡県立社会教育総合センター

〒811-2402 福岡県糟屋郡篠栗町金出3350-2

TEL 092-947-3511

FAX 092-947-8029

Mail shakyoc@pref.fukuoka.lg.jp